



すぎのこつうしん

平成28年度 4月号 古川東町カトリック保育園

「温かな家庭的雰囲気の中で、新しい生活に慣れましょう」

入園・進級おめでとうございます。毎年ドキドキの4月です。新入園児の親御さんは、保育園に慣れてくれるかと自分自身も仕事に復帰しなければという不安も同時にあることでしょう。保育園としてもその子の個性を理解するまで、どのようにしたら安心して生活していけるかを模索し対応していきます。

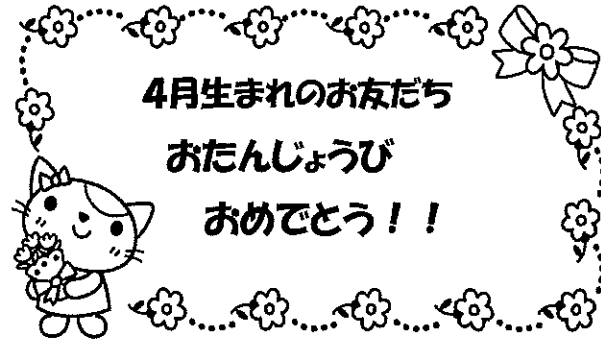
進級する子ども達は新しいクラスに(22日から移動してはいますが)慣れて、4月1日から別の保育士に慣れて楽しく生活できると親御さんも心配していることでしょう。しかし、子ども達の順応性は素晴らしいものがあります。親御さんが慣れるより早く慣れる事と思います。

この4月は保育園と保護者の皆様との連携を密にすることで、一日でも早く保育園で安心して楽しく過ごせるようにしていきたいと思ひます。心配な事などがありましたら気軽に声をかけてください。

<平野 義子 記>

行事予定

1日(金) 第47回入園式
 4日(月)~8日(金) 家庭訪問
 5日(火) 歯科検診
 6日(水) 内科健診
 28日(木) 誕生会・こどもの日の集い



4月生まれのお友だち

おたんじょうび

おめでとう!!



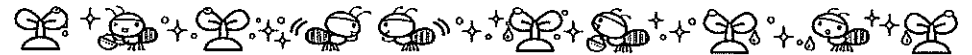
4がつのうた

♪いつでもなかよく♪

1. いつでもなかよく おあそびと イエスさまの イエスさまの やさしいおこえがきこえます
2. なんでもよろこぶ あかぬいこ イエスさまの イエスさまの いちばんおすきなよいこども

♪おはなかわらった♪

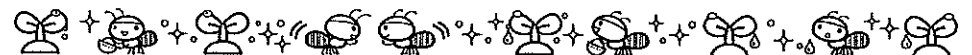
1. おはなかわらった おはなかわらった おはなかわらった おはなかわらった
みんなわらった いちどにわらった
2. おはなかわらった おはなかわらった おはなかわらった おはなかわらった
みんなわらった げんきにわらった



○温かな家庭的雰囲気の中で、新しい生活に慣れましょう○

4月になると、新しいお友だちが入園して来ます。職員は「どんなお友だちが来るんだろう」ととても楽しみです。継続児の保護者の方々には、クラスや担任が変わり、又、新しく入園するお子さんの保護者の方々には家とは異なった環境に「大丈夫かな?」と心配になると思ひます。お子さんも不安で泣いてしまうことでしょう。子ども達のその不安を受け止めるのが保育士の努めです。一日でも早く保育園の生活に慣れ、安心して過ごせるように毎日笑顔で関わり、信頼関係を築いていきたいと思ひます。

<ぼんび組担任 島山 歩>





クラスだより

ぽんぴ組(0歳児)

- <わらい> ・家庭的雰囲気の中で、家庭での生活リズムが引き継がれ、安心して過ごす
- <家庭連携> ・お子さんが早く新しい環境に慣れ安心して過ごせるよう、食事や睡眠、健康面など連絡を取り合います。
- ・おむつやスタイ、靴下など一つ一つに名前を記入をお願いします。

ひよこ組(1歳児)

- <わらい> ・温かな家庭的雰囲気の中で、新しい生活に慣れる
- ・春の自然に触れ、のびのび遊ぶ
- <家庭連携> ・新しいクラスでの生活に少しずつ慣れていけるようにし、家庭でも十分な休息をとれるよう心掛けていきましょう
- ・春の自然の中で、のびのび遊べるよう、戸外で遊ぶ機会を増やしていきましょう

ことい組(2歳児)

- <わらい> ・新しい生活に慣れ、安心して生活する
- ・自分の好きな玩具や遊びを見つけ、保育士と楽しむ
- <家庭連携> ・新しい環境に戸惑うことがあると思うので、いつも以上に多く関わるようにしてください。
- ・お子さんが安心して生活できるよう、家庭と園での様子を伝え合います

こねこ組(3歳児)

- <わらい> ・家庭的な環境の中で進級した喜びと期待を持ち、生活する
- ・新しい環境や生活の仕方に慣れる
- <家庭連携> ・進級した喜びに共感し、意欲的に生活できるよう励ましたり、優しく見守ってあげましょう
- ・午前のおやつがなくなり、散歩に行く機会が増えるので、しっかり朝ごはんを食べましょう

うさぎ組(4歳児)

- <わらい> ・進級した喜びと自覚を持ち、家庭的雰囲気の中で生活する
- ・新しい生活の仕方が分かり、安心して過ごす
- <家庭連携> ・進級したことを共に喜んだり、園生活に期待が持てるようにしていきます
- ・新しい環境で緊張し疲れが出ることもあるかと思いますが、家庭でしっかり休息をとるようにしましょう

ひつじ組(5歳児)

- <わらい> ・家庭的な雰囲気の中で友だちと進級した喜びを分かち合う
- ・春の自然に触れながら保育士や友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ
- <家庭連携> ・年長児になった喜びを共に分かち合うことで様々な意欲につなげ、自信を持てるように励ましていきましょう
- ・家庭でも春の自然に大いに触れ、子どもとたくさん遊びましょう

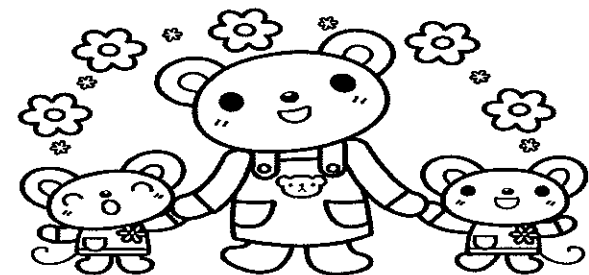
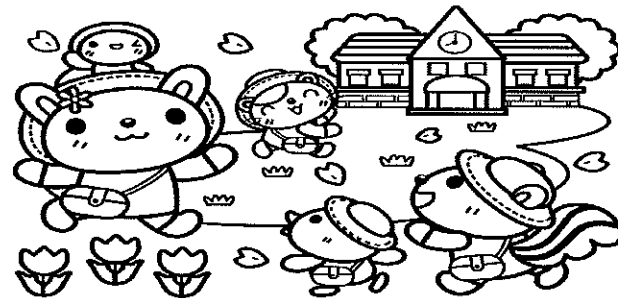
給食室

- ・新年度をむかえ、新しい環境に慣れるよう食べやすい給食、楽しい雰囲気を心掛けていきたいと思ひます。ご家庭でも家族団らんの際、楽しい雰囲気でお食事を囲めるよう工夫してみてください。



お知らせ

- ・林知代保育士、伊藤順子保育士が3月31日付で退職いたしました。長い間ありがとうございました。
- ・早川美伶保育士、本田紗由里調理員が入ります。よろしくお願ひ致します。



あなたの一時間拝借！

ご入園 ご進級」を心からお祝い申し上げます！



「家庭は、豊かな人間形成の学校の一種である」と第二ヴァチカン公会議の現代世界憲章第52条に記されています。女性の正当な社会的進出により家庭内における尊厳と使命に対する配慮が怠りがちになり、乳幼児の心育、情操教育、人間形成の基本が崩壊されている現実を直視する時、保育所のなすべき使命は重且つ大であることを見直し、乳幼児にとって保育所があたたかい家庭の延長線上にあるよう特意すべき責務が求められていることに目覚め、心して各自の任務をしっかりと果たしてくれるよう祈念してやまないところです。従って保育園では、人間形成の基本的習慣としての次の4つのところ即ちあいさつ、ありがとう、あやまりあう、あたえ合う4つの心の実践力を尽くし合いながら、日々好日の恵みで満たされるよう努力していただきたいと思ひます。

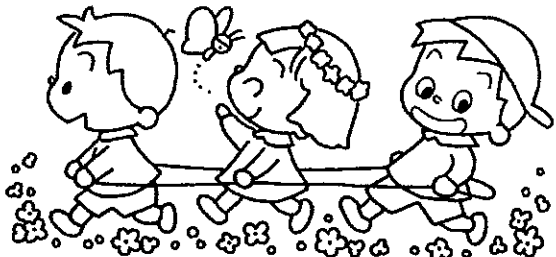
この4つのところの実行が家庭でも、保育園でも心を込めて行われればそこには必ず『和』が生じます。夫婦仲良く、親子仲良く、兄弟仲良くの『和』が身内から地域へ、更に『世界』へ広がる『輪』になって、それが親から子へ、子から孫へと繋がる命の『環』に深化して、人間社会におけるまことの安全保障の場が創造されることと信じます。

これこそ乳幼児たちの安全な安らぎの場以外の何ものでもありません。まさに育児にかかわる全ての人々の道義的目づ経済的責任が伴うお仕事であることに心耳を傾け、今まで以上に保育そして教育に対して目配り、気配り、心配りをされるよう精進してほしいものですね。まさに4つのところは家庭の人間味のある温かい世界を現し合える力を備えていると思ひます。

4月のテーマ、それは4つのところで温かい家庭的保育を目指し

乳幼児と共に人間性教育に力をつくしましょう！

児童憲章には、児童の保育のために3つのテーマを掲示しています。その一つは児童の人格権を認めること、二つ目は社会性を高めること、そして三つ目は良い環境をつくることが示されています。特にそれらのうちの三番目が保育を左右することに気が付く人は何人いるか問題ではと思う御仁の一人です。世は環境といえは設備、建物、備品等のみを重視する傾向甚だしく、保育にかかわる人的環境即人材には、あまり重きを置かないことに心の目を向け考え直してほしいと思ひます。かかる意味合いから四番目に宗教性そして五番目に倫理性をあげてしるべきことではないでしょうかと思う次第です。



4つの心の実践は、まさに人が人として互いに尊重し合うように子ども達を育成するために基本的に必要なテーマであると思ひます。また、宗教が冠婚葬祭やお祭りごと等に捉えられている世情や生活上から倫理性が締め出され、物質文明の豊かさ、機器文明の乱用による家庭のみならず政・官・財の秩序の乱れはいかなるものかと案じている一人です。すべたはあるべきものの目的を無視した結果ではないかと思ひます。それは何の為に存在するかを考え、目的に添うて、使用することです。故ローマ教皇ヨハネ・パウロ二世が来日され旧後樂園(東京ドーム)で全国から集まったキリスト者たちに日本語で次のように説教されたことを思ひ出します。

人は優先順位を間違っははいけません。21世紀は、物より心を、物質文明より精神文明を、

精神文明より愛の文明を優先しなければなりません。

(ここで愛とは、人格的に大切にしようという意味で使われています)

子ども達が、天地の創造者であり、全人類の父である神の御心に叶う大人に成長していくように、保育者自ら家庭的温かさを持って4つのところの保育に専念いたしましょう。家庭が保育のプリマ・スコラであることを忘れず！

4つの心が和から輪にひろがり、環となって永久に繰り返される！
そこには和を嘉(よみ)したもう神まします。

One for all, All for one の精神を目配り、気配り、

心配りに活かしながら4月の目標達成に努力いたしましょう。

カトリック古川教会
司 祭 川 井 啓

